

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10587002				
授業名	国際関係と外交課題 B	形態	講義	単位	2
担当教員	石綿 寛				
開講学期	2019年度 後学期	曜日・時限	火曜4限		
授業目的	現在の国際社会の在り方を様々な現象や事例を通して理解する。また現代日本の外交課題・国際課題を理解する。その際、国際政治の歴史や国際関係理論を手がかりにする。国際関係論や国際政治を専門的に学ぶ上での基礎知識を取得する。				
授業内容	現代の国際社会のありかたを様々な事例を通して学ぶ。そして現状を理解するために背景となっている国際政治史・国際関係理論・を概説する。また日本の外交課題を考察するために、日米関係、日本と東アジアを事例として取り上げる。				
到達目標	現在の国際社会やその問題に興味関心をもてるようになるとともに歴史、理論の視点からそれらを考えられるようになる。現代日本の国際的課題への取り組みに対して情報を適切に理解できるようになる。				
ディプロマポリシーとの関連性	<DP1-(4)> 人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。				
授業形態	講義形式を中心におこなう。講義によっては映像資料なども用いる。毎回授業では、双方向性を実現するため、そして理解度・習熟度を見るために予習ペーパー・リアクションペーパーの提出が求められる。				
事前・事後学習の所要時間	講義時間30時間（2時間×1コマ×15週）＋事前事後60時間（第1～15回目授業までの総合計）				
テキスト	決まったテキストは使用しない。毎回用意されるレジユメがテキストとなる。予習用文献はこちらで提示する。				
評価方法	リアクションペーパー、ホームワーク・予習ペーパー、最終テストによって授業内容への理解度・習熟度・研究姿勢を判断する。				
評価基準	リアクションペーパー30%、ホームワーク・予習ペーパー20%、最終テスト50%				
試験・レポート等のフィードバック	授業ではリアクションペーパー・ホームワークおよび予習ペーパーを実施する。その際に、深く考察されたものを授業内で発表をする。また、レポートを提出するにあたり、レポート作成法の講義を実施する予定である。				
注意事項及び履修条件	授業への積極的な参加が望まれる。予習、リアクションペーパーの作成を通じて、講義で学んだこと、考えたこと、自分との関係を積極的に考えること・記述することが望まれる。また、個々人で自習をおこない興味を持ったテーマについてインターネット・文献調査をすることが必要となる。				

S：100～90、A：89～80、B：79～70、C：69～60、D：60未満

第1回	
事前学習	個々人の興味のある国外のニュースについて新聞記事・インターネットで調べてみる。
授業内容	受講のルール、到達目標、課題、授業評価など学習内容全体の概要説明をする。そのうえで、国際関係と外交課題の講義における方法論について紹介する。
事後学習	授業のルールや課題、授業評価などを復習すること。授業で配布されたレジユメを復習すること
参考文献	

第2回	
事前学習	多文化主義に関する予習文献を講読すること。関連する文献・ニュースを各自で調べること。
授業内容	現代における国際的な人の移動について講義をおこなう。身近な他者を認識することの重要性について講義する。
事後学習	授業で配布されたレジユメを復習すること。
参考文献	

第3回	
事前学習	国際機関に関する予習文献を講読すること。関連する文献・ニュースを各自で調べること。
授業内容	国際連合など国際機関を概説する。その背景にある考え方や歴史なども議論する。
事後学習	授業で配布されたレジユメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみる。
参考文献	

第4回	
事前学習	制度としての国家に関連する予習文献を講読すること。関連する学術書、事典、インターネット、論文を探して調べてみる。
授業内容	国際社会における国家という制度の意味を講義する。その歴史的背景についても講義をしていく。
事後学習	授業で配布されたレジユメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探し

て読んでみることに。

参考文献	
------	--

第5回

事前学習	核兵器についての予習用文献を講読する。関連するテーマの本や事典などを調べてみる。
------	--

授業内容	核兵器登場の背景を講義する。核という現象を通じて、国際関係における権力を理解する。
------	---

事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみることに。
------	---

参考文献	
------	--

第6回

事前学習	日米安全保障条約に関する予習文献を講読する。関連する書籍や新聞記事などを調べる。
------	--

授業内容	日米安全保障条約の事例を通じて、国際社会において重視される権力を理解する。
------	---------------------------------------

事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみることに。
------	---

参考文献	
------	--

第7回

事前学習	石油に関する予習用文献を講読すること。関連するテーマを各自で調べてみることに。
------	---

授業内容	石油およびその価格が決定するメカニズムについて講義をおこなう。石油と言う現象を通じて国際社会の相互依存という現象を講義する。
------	--

事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみることに。
------	---

参考文献	
------	--

第8回

事前学習	金融危機に関する予習文献を講読すること。関連するテーマを各自で調べてみることに。
------	--

授業内容	金融危機の事例などを通じて国際社会の相互依存の問題を講義する。場合によっては映像資料を用いる。
------	---

事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみることに。
------	---

参考文献	
------	--

第9回

事前学習	地球温暖化に関する予習文献を講読すること。関連する文献を各自で調べてみることに。
------	--

授業内容	地球温暖化の現状および問題を講義する。場合によっては映像資料をもちいる。国際社会が前提としていた近代化という問題を講義する。
------	--

事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみることに。
------	---

参考文献	
------	--

第10回

事前学習	アフリカの貧困に関する予習文献を講読する。関連する資料を各自で調べることに。
------	--

授業内容	アフリカを資源というテーマから講義する。これを通じて国際社会における格差およびその背景を講義する。
------	---

事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみることに。
------	---

参考文献	
------	--

第11回

事前学習	NGOの役割に関する予習文献を講読する。関連する文献を各自で調べる。
------	------------------------------------

授業内容	国際社会におけるNGOの役割に講義をおこなう。講義を通じてエンパワーメントの重要性について講義を実施する。
------	---

事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみることに。
------	---

参考文献	
------	--

第12回

事前学習	東アジアの平和に関する文献を講読する。関連する文献を各自で調べることに。
------	--------------------------------------

授業内容	日本の平和外交の変化とその背景について議論する。現在の日本の東アジア外交課題について議論する。
------	---

事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみることに。
------	---

参考文献	
------	--

第13回

--	--

事前学習	東アジアの平和に関する予習用文献を講読する。関連する文献を各自で調査すること。
授業内容	東アジアの平和をめぐる講義の第2回目。国際社会における歴史の重要について講義をおこなう。
事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみる。
参考文献	

第14回	
事前学習	講義全体のレジュメを見直すこと。各自にとってのこの講義の意味は何であったかを記述してくること。
授業内容	講義全体のまとめを実施する。各会の要点の整理などを実施、現在の国際社会の課題そして日本の外交課題の整理をおこなう。
事後学習	授業で配布されたレジュメを復習すること。またこのテーマに興味がある場合は自主的に論文を探して読んでみる。
参考文献	

第15回	
事前学習	最終テストの準備をおこなうこと。
授業内容	最終テストを実施する。その後最終テストの解説をおこなう。
事後学習	授業で学んだこと、これからも取り組みたいと思う国際課題を各自自分のノートに記述すること。
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<p>&lt;DP-1&gt;  <b>【社会の構成員としての基本的知識・技能・態度】</b>  社会生活で必要となる汎用的技能及び社会の一員として求められる態度や志向性を身に付けているとともに、人類の文化、社会と自然に関する知識について理解している。</p> <p>&lt;DP1-(1)&gt;  日本語及び外国語によるコミュニケーション能力を身に付けている。</p> <p>&lt;DP1-(2)&gt;  情報通信機器の活用に関する知識・技能を持ち、利用における法令順守の態度を身に付けている。</p> <p>&lt;DP1-(3)&gt;  問題を発見し、課題を解決する能力を持ち、立案・実行過程で主体性を持って協働できる態度を身に付けている。</p> <p>&lt;DP1-(4)&gt;  人間・文化・社会・国際事情あるいは自然等について幅広い知識と理解を有している。</p>
-----------	---